

2022年度 再生可能エネルギー電気特措法による入札制度（太陽光発電）

よくある質問と回答

No.	区分	質問	回答
1	共通	入札・落札結果はどのような形で発表されますか？	第12回は6月17日（金）、第13回は8月26日（金）第14回は11月25日（金）、第15回は2023年3月10日（金）に、当機関のホームページに掲載します。 公表内容は以下を予定しています。 ①入札の結果 ・入札参加資格の審査のために提出された事業計画数 ・応札のあった件数 ・応札のあった再生可能エネルギー発電設備の出力の合計 ②落札の結果 ・落札者名（法人の場合は名称及び代表者氏名） ・落札した再生可能エネルギー発電設備に係る供給価格の額 ・落札した再生可能エネルギー発電設備の出力
2	調達価格と調達期間	出力250kW以上のRPS認定設備についてFIT/FIPへ移行する場合、調達価格/基準価格と調達期間はようになりますか？	調達価格/基準価格は、入札において落札した価格が適用されます。調達期間は、経済産業大臣が定めた期間（20年間）からFIT/FIPの適用を受けずに運転していた期間を除いた期間が適用されます。
3	調達価格の上限	補助金の交付を受けて設置された設備に係る上限価格は、その補助金を考慮した上限価格となることについて、対象となる補助金として入札実施要綱P.9には3つ掲載されていますが、地方自治体の補助金は含まないのでしょうか？	要綱P.9に記載した3つの補助金のみを対象とします（これに類する補助金は含みません）。
4	事業計画の提出	2021年度までに、FIT/FIP電子申請システムを使用しており、登録者IDを保有している場合に、当該IDを使用して2022年度の入札対象案件に係る認定を申請することはできますか？	既にFIT/FIP電子申請システムにおける登録者IDを保有している場合は、当該IDを使用して認定申請を行うことができます。
5	事業計画の提出	FIT/FIP電子申請システムの操作はいつからできるようになりますか？	入札対象区分については、FIT/FIP電子申請システム及び入札システムのいずれの操作についても、入札に係る事業計画の受付期間のみ可能となります。したがって、第12回に参加される場合は4月18日（月）、第13回に参加される場合は6月27日（月）第14回に参加される場合は9月26日（月）、第15回に参加される場合は2023年1月10日（月）より操作ができるようになります。
6	事業計画の提出	運転開始予定日は、誰が決めるのでしょうか？	運転開始予定日は、事業開始可能な予定日を発電事業者様に決定し、必ず記載してください。
7	事業計画の提出	事業計画の提出書類のうち、登記簿謄本及び印鑑証明書に、有効期限はありますか？	発電設備の設置場所に係る登記簿謄本については、最新の権利状況が表示されていることが必要のため、申請日より3か月以内に発行された、履歴事項全部証明書が必要です。また、印鑑証明書についても、同様に申請日より3か月以内に発行されていることが必要です。 これらの添付書類は事業計画提出に際して、FIT/FIP電子申請システムよりPDF形式でアップロードしていただきます。
8	事業計画の提出	事業計画は、紙媒体を郵送する必要はありますか。	事業計画提出においては、事業計画の紙媒体での郵送は必要ありません。 ただし、入札の結果、落札した案件については、入札結果公表日の翌日から起算して2週間以内に、FIT/FIP電子申請システムで作成した事業計画（認定申請書）を紙媒体で管轄する地方経済産業局に郵送ください。
9	事業計画の提出	発電設備の設置場所に係る登記簿謄本は、全筆分を提出するのでしょうか？	全筆分の提出が必要です。 事業計画提出に際しては、FIT/FIP電子申請システムよりPDF形式でアップロードしていただきます。
10	事業計画の提出	出力2,000kW以上の場合、実施要綱P.17に「関係法令手続状況報告書の記載における注意点として最小単位の行政（市区町村）への確認・相談は、事業計画提出後に行うこと」として、確認・相談予定日を記載して提出しても問題ないでしょうか？	最小単位の行政（市区町村）への確認・相談は、事業計画提出前に必ず実施し、結果について、可能な限り詳細に記載してください。
11	事業計画の提出	入札参加者が事業計画を提出した後に、「再生可能エネルギー発電事業者名（法人にあっては名称）」を変更することは可能ですか？	認定を取得するまでの間は、再生可能エネルギー発電事業者名の変更は認められませんが、認定取得後は通常の変更認定または事後変更届出により変更することが可能です。
12	手数料	手数料を振込み後に入札参加を辞退した場合、手数料は返還されますか？	辞退を申し出る前に振り込まれた手数料は返金しませんので、御注意ください。
13	手数料	手数料は、期限までに振込手続を行えば、着金が翌日になったとしても、期限までに手数料を納付したとみなされるのでしょうか？	手数料は、期限までに当機関の口座に着金していることが必要です。着金が期限日を過ぎた場合は、入札に参加いただけませんので御注意ください。 また、期限を過ぎて当機関の口座へ着金した手数料については返金させていただきますが、この場合、振込手数料は入札参加希望者の負担となりますので御了承ください。

14	入札の実施	入札システムでの入札IDとログインIDの違いは何ですか？	入札IDは入札案件ごとに付与されるIDで、入札システムにおいて入札案件登録を実施した日にEメールにてお知らせします。ログインIDは実際に入札する際にシステムにログインする為のIDであり、当機関からEメールで送付する「入札実施の御案内」でお知らせします。
15	保証金	第1次保証金の納付が完了した翌日以降に入札実施可能となるのでしょうか？また、第1次保証金はいつまでに納付する必要があるのでしょうか？	第1次保証金を現金で納付した場合は納付した翌営業日以降、金融機関の発行する保証書を提出した場合は保証書が当機関に到達した翌日から起算して3営業日以降に入札実施可能となります。したがって、例えば、入札募集期間の最終日に入札を行うためには、入札募集期間最終日の前営業日までに当機関の口座に第1次保証金が着金していること、又は入札募集期間最終日の3営業日前までに当機関が示した要件を満たす金融機関が発行する第1次保証金相当の保証書が当機関に到達していることが必要ですので、御注意ください。
16	保証金	保証金の単位となるkWとは、パワーコンディショナーの出力でしょうか、それとも太陽電池の出力でしょうか？	パワーコンディショナーの出力と太陽電池の合計出力のいずれか小さい方の出力です。
17	保証金	入札実施要綱P.37に第2次保証金の没収理由として、「4当該落札に係る再生可能エネルギー発電設備の出力を増加させたこと」とあります。この出力とは、パワーコンディショナーの容量のことでしょうか？ ※P.44の落札者決定の取消し事由の4も同様	この場合の発電設備の出力とは、パワーコンディショナーの出力と太陽電池の合計出力のいずれか小さい方の出力です。
18	保証金	落札出来なかった場合、第1次保証金は返還されるのでしょうか？	当該入札参加者が第1次保証金の没収事由のいずれにも該当しなければ、当機関へ提供された第1次保証金は返還します。第1次保証金の納付を保証書を提出する方法で代替していた場合には、当該保証書を返却しますので、保証書の返却手続を実施してください。
19	保証金	運転開始予定日までに運転開始ができない場合は、納付した第2次保証金は全額没収されるのでしょうか？	落札者が設定した運転開始予定日までに運転開始できない場合でも、第2次保証金は没収されません。
20	保証金	認定取得期限までに認定取得できなかった場合、第2次保証金は、没収されるのでしょうか？	入札回ごとの認定取得期限までに認定が取得できなかった場合は、落札者決定が取り消されます。ただし、第2次保証金については、当該落札に係る事業計画について認定取得期限後に事業計画の提出期間が開始される最初の入札に再度参加し、当初の落札価格以下の価格で入札することを条件に、1回に限り、第1次保証金及び第2次保証金に充当することができます。ただし、当該条件を満たさない場合（当該入札に参加しない、当該入札において当初落札価格を超える価格で入札する等）は、当該第2次保証金は没収扱いとなります。
21	保証金	第2次保証金没収事由及び落札者決定の取消し事由に「落札に係る再生可能エネルギー発電設備の設置の場所を変更したこと」とありますが、地番の追加・削除に係る変更認定申請を行った場合も第2次保証金は没収となり、落札者決定は取消されますか？	第2次保証金没収事由及び落札者決定の取消し事由にある「落札に係る再生可能エネルギー発電設備の設置の場所を変更したこと」とは、発電設備の設置場所の「移設」を指しており、隣接する一連の地番の追加又は削除（当初認定されていた地番の全てを削除する場合を除く）はいずれにも該当しません。ただし、事業計画の変更は認定取得後のみ可能となりますので、御注意ください。
22	保証金	第2次保証金は提供期限までに振込手続を行えば、着金が翌日になったとしても有効でしょうか？	第2次保証金についても、受付期間内の最終日（提供期限）までに当機関の口座に着金していること（又は、保証書が当機関の営業時間内に到着していること）が必要です。これを満たさない場合には落札者決定は取り消され、第1次保証金の全額が没収扱いとなりますので御注意ください。
23	落札	最後の落札者となり、落札できた容量がFIT:250kW未満/FIP:1,000kW未満となった場合、供給価格は当該落札した価格になるのでしょうか？あるいは、今年度の入札対象区分以外の供給価格である10円/kWhが適用されるのでしょうか？	当該落札した価格（＝応札した価格）が供給価格になります。
24	落札	最後の落札者となり、当該事業計画に係る発電設備の出力の一部を落札できず、当該出力を20%以上減少することとなった場合の供給価格はどうなりますか？	当該落札した価格（＝応札した価格）が供給価格になります。
25	認定	入札実施要綱P.33に、「落札者は認定取得期限までに、当該落札に係る認定を受ける必要があります。」とありますが、電源接続案件一括検討プロセスなど接続契約の締結までに時間がかかる場合も同様ですか？	2017年度の改正FIT法に基づく認定制度では、事業実施可能性が高い案件を認定することとしており、事業実施可能性を判断する上で接続契約を締結していることは重要な要素であって、明確に認定要件として位置付けられています。したがって、入札参加希望の際には、認定取得期限までに電力会社と接続契約が締結できるスケジュールを確保の上、申請・入札してください。なお、認定取得期限までに認定を取得できなかった場合の取り扱いについては、No.20の質問を参照してください。